

1 第26回参議院議員通常選挙

第26回参議院議員通常選挙は、令和4年（2022年）6月22日に公示され、7月10日に執行された。

今回の選挙の改選数は、平成30年の公職選挙法一部改正（比例代表の定数4増、埼玉県選挙区の定数2増による定数較差是正等）に伴い、第25回通常選挙に続いて、比例代表で2増、選挙区で1増となった。

比例代表と選挙区を合わせた改選数124、神奈川県選挙区で通常選挙と合併して行われた補欠選挙1議席に対して545人が立候補し、ウクライナ情勢を受けた物価高騰対策、外交・安全保障政策、憲法改正等を争点として、選挙活動が行われた。

投票日2日前の7月8日、街頭演説中の安倍晋三衆議院議員（元内閣総理大臣）が銃撃され逝去した。

投開票の結果、自由民主党は単独で改選議席の過半数を獲得し、憲法改正に前向きとされる勢力が、非改選と合わせ、憲法改正の発議に必要な3分の2を上回ったことが注目された。また、日本維新の会、れいわ新選組及びNHK党が議席を増やしたほか、新たに参政党が比例代表の議席を得るとともに、政党要件を満たすこととなった。女性の当選者数は35人（補欠選挙を含む。）となり、過去最多となった。

今回の投票率（全国平均）は、比例代表52.04%、選挙区52.05%となり、前回の通常選挙より、いずれも3.25ポイント上回った。期日前投票者数は約1,961万人となり、参議院議員通常選挙として過去最多を更新した。

各党派別の獲得議席数は以下のとおりである。

党派	獲得議席数
自由民主党	63
立憲民主党	16（1）
公明党	13
日本維新の会	12
国民民主党	5
日本共産党	4
れいわ新選組	3
社会民主党	1
NHK党	1
参政党	1
無所属	5
改選数計	124（1）

（ ）内は、神奈川県選挙区で通常選挙と合併して行われた補欠選挙の獲得議席数で外数である。

（出典）総務省自治行政局選挙部「第26回参議院議員通常選挙結果調」より作成